

携帯電話を利用した日本語教育における漢字学習コンテンツの可能性 －端末画面に表示される文字フォントと文章表示の問題点－

古川 雅子

要旨

本研究では、日本語学習者(就学生)13名を対象に、携帯電話・PHSの画面上に表示される漢字・文字の判読および文章の読みやすい表示方法について3つの実験調査を行なった。

実験1では、画面に表示された漢字を正しい漢字として紙に書き写すことができるか調査した。その結果、未知の漢字を画面に表示されている文字から正しく認識することは、日本語学習者にとって難しいことが明らかになった。また、提示された漢字が被験者にとって既知の漢字であっても、別の既知の漢字に読み間違える可能性があることも確認できた。実験2では、選択方式をとり、画面上と同じ漢字や文字を、紙面上の各選択肢から選択することで、印刷物との認識一致度を調査した。選択肢による比較検討の場合、被験者は正しい漢字を画面からほぼ判読できていることが確認できた。実験3-1、3-2では、印象評価実験を行ない、3-1では画面に一度に表示される文章の区切り(改行)について単語の終りを重視するほうが読みやすいか調査した。実験3-2では、続きを読むの文を画面に表示する場合、画面を切り替える方法と1行追加する方法とを比較検討した。

【キーワード】携帯電話、インターネット学習コンテンツ、漢字、液晶画面、文字フォント、文章表示方法

1. はじめに

現在、日本で日本語を勉強する外国人留学生の80パーセント以上が携帯電話(PHSを含む)を持ち、その半数がEメールを利用している。iモードやezwebなど携帯電話におけるインターネットコンテンツを利用した日本語学習教材が、将来日本語学習者にとって有効な日本語学習方法のひとつとなる可能性があらわれたと考えられる。しかし、現在主流の携帯電話では、ファイルデータのダウンロード容量に限界があるため、音声や画像・動画などを十分盛り込んだインターラクティブな日本語教育のコンテンツを作成することがまだ難しく、今後の携帯電話の技術的進歩を待たざるを得ない。だが現在でも見方を変えれば、文字による日本語学習教材を提供することなどは容易である。例えば、学習者が日本語でEメール機能を利用し、そこで漢字変換を行なえば結果としてその携帯電話は漢字教材となる。実際、日本語学習者のなかには、日本で使われる漢字を覚える為にEメールの漢字変換機能を使って、漢字を学習している者もいる。ただ、携帯電話で漢字教材を提供することを考えた場合、まず携帯電話画面に表示される漢字が、学習モデルとなりうるか検証する必要がある。

2. 実験調査の目的

現在も携帯電話の液晶画面や文字フォントの改良は盛んに行なわれ、「読みやすい」漢字表示を謳い文句に新機種が次々と発売されているが、その内容には1文字あたりのドット数制限による「文字の潰れ」を解消していく努力が含まれている。これは言い換えると、標準サイズで表示される漢字の多くが、あるべき字画を省略され、漢字全てが日本語学習者の学ぶべきモデルとなりうるとは限らない状況になったことと考えられる。漢字によっては、拡大フォントでも字画を省略されている文字があることも確認している。そこで、実際にこのような省略漢字が携帯電話に表示された場合、それを漢字教材と見立てて学習者が正確な漢字を学習できるかについて、日本語学校で日本語を勉強する外国人留学生(就学生)13名を対象に実験調査をすることを目的のひとつとした。

もうひとつは、携帯電話の画面で表示される文章表示方法についての調査である。パソコンなど英文ワープロでは、単語のまとまり単位で自動的に改行できるような微調整が可能となっているが、携帯電話でその機能があるものは少ない。また携帯電話の画面に表示される文を単語ごとに改行することは、画面に一度に表示できる文字数が少なくすることである為、一目で見られる情報量が減ってしまうことに加えて、全文を読む際に必要な操作数が増えて手間がかかつてしまうことが問題として挙げられる。この問題が日本語学習者にとって日本語の文章を読む場合にも当てはまるのか調査し、日本語学習者にとって読みやすい表示方法を考えたい。

実験調査の目的は、具体的には以下の 3 点である。各目的は、後述の実験 1 ~ 3 にそれぞれ対応している。

- 1) 画面に表示された漢字を正しい字画の漢字として認識できるか
- 2) 画面に表示された漢字と印刷物の漢字の対応を認識できているか
- 3) 画面に表示された文章を読む場合に、どの改行方法や追加文表示方法が読み易いと感じるか

3. 実験方法

今回の実験調査では千駄ヶ谷日本語教育研究所に協力していただいた。

実施 1 週間前に今回の実験協力者募集ポスターを構内に掲示し、応募した 13 名に実験調査への協力を依頼した。(2001/9/25)

実験時間は 1 時間程度とし、被験者の授業が午前・午後に分かれている為、午前 11:00~12:00(6 名)と、午後 1:30~2:30(7 名)の 2 回に分けて実施した。

実験では、1 人につき携帯電話を 1 台支給し、それぞれが携帯電話のボタンを操作しつつ表示画面を見て、配布した質問用紙に記入する方法をとった。用意できた携帯電話の台数(4 台)は被験者数より少なかった為、始めに 4 人の被験者に調査を行ない、その間残りの被験者には質問用紙のアンケート部分を記入しつつ待ってもらった。

調査問題に使用した出題漢字は、留学生が日本語能力検定 1 級合格に必要な範囲に限って、画面上で漢字画数が省略される漢字を分類し、そこから提示した。(注 1)

今回の実験参加者は、以下の通りである。

(表 A)

日本語レベル(注 2)			国籍			母語		
初級	中上級	上級	中国	台湾	韓国	中国語	韓国語	朝鮮語
6	6	1	9	1	3	9	3	1

「漢字学習に関するアンケート」では、以下の回答(表 B)を得た。今回の実験対象者は、全員が日本語学校で日本の大学または大学院に入学するために日本語を勉強している就学生である為、漢字学習は受験に必要との意識が高く、毎日勉強している学生が多い。また、全員が漢字圏の文化をもつ為なのか、漢字を書いて覚える方法の他に、見て覚えるという回答もあった。

(表 B)

質問	回答	人数
日本の漢字を勉強しているか	はい	13
	いいえ	0
漢字を勉強する目的	日本語を勉強する為	11
	生活する為	1
漢字を勉強する頻度	毎日	7
	週 20 時間程度	3
	週 15 時間程度	2
	週 3 時間	1
漢字を覚える方法	漢字を書いて覚える	8
	漢字を見て覚える	3
	見たり書いたりして覚える	2

4. 結果と考察

4-1 実験 1(質問 1)

「画面の文字を見て、同じ文字を書いてください。また、この漢字を知っていたら隣に○を書いてください。」という設問で 10 題提示し、学生の回答に対して以下 4 つの観点から分析を行った。

1) 表示文字の認識

携帯電話の画面に表示された漢字の字形をそのまま忠実に用紙に書き写すことで、どのような

字形が画面に表示されていると認識しているか調査した。表示文字通りの漢字（つまり学ぶべき漢字とは異なり、字画が省略された漢字）を書き写すことができた被験者が多いことが、以下の表 1-1 から分かる。画面に表示されている省略文字に関わらず、漢字によっては漢字として正確な文字を書く者もいた。

[表 1-1] (1 = 正確な漢字を書いた 0 = 画面表示通りの文字を書いた)

	レベル	母語	員	鑑	風	響	闇	薦	賞	事	重	離	合計 A
回答者1	初級	中国語	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	3
回答者2	初級	中国語	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3
回答者3	初級	中国語	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
回答者4	初級	中国語	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回答者5	初級	中国語	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
回答者6	初級	中国語	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
回答者7	中上級	中国語	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回答者8	中上級	中国語	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
回答者9	中上級	中国語	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3
回答者10	中上級	韓国語	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
回答者11	中上級	韓国語	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3
回答者12	中上級	朝鮮語	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
回答者13	上級	韓国語	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3
合計 B			0	6	9	0	0	0	0	0	1	9	25

表 1-1 の合計 A と合計 B を比較すると、画面の表示通りに漢字を書き写すよう指示を出したにも関わらず、正確な漢字を書いたのは、被験者個人的な傾向ではなく、出題された漢字によるものであることが推測できる。

そこで次に、この傾向が被験者の既知の漢字知識が影響しているか調べた。

2) 過去の習得度の影響

下の表 1-2 では、画面に表示された漢字を知っているか質問して回答を分析した。

今回の実験では漢字圏の被験者が多いため、日本語の使用漢字として習得したものと「習得」と定義づけた。

上の表 1-1 からは、「鑑」「風」「離」に被験者の過去の学習習得度が影響しているのではないかという仮説を立てることが可能である。

表 1-2 では、「鑑」「風」「離」の過去の習得度は高いことが分かる。しかし、同時に他の出題漢字も過去の習得度は高かったことが分かった。

[表 1-2] (1=既知の漢字である 0 = 未知の漢字である)

	レベル	母語	員	鑑	風	響	闇	薦	賞	事	重	離	合計 A
回答者1	初級	中国語	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	3
回答者2	初級	中国語	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	4
回答者3	初級	中国語	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1	5
回答者4	初級	中国語	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	7
回答者5	初級	中国語	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	3
回答者6	初級	中国語	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	4
回答者7	中上級1	中国語	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
回答者8	中上級1	中国語	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
回答者9	中上級1	中国語	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
回答者10	中上級1	韓国語	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	9
回答者11	中上級1	韓国語	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	9
回答者12	中上級2	朝鮮語	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
回答者13	上級2	韓国語	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	9
合計 B			10	10	13	7	7	4	8	11	12	11	93

表1-1では、敢えて既知の漢字を画面表示通りに書いてもらったが、表1-3から分かるように、画面に表示された漢字を既知の漢字として認識できたのは、被験者の中に「正しい漢字」のイメージがあった為といえる。そこで、次に、被験者が提示された漢字に対して、正確に対応する漢字を実際にイメージできているのか調べた。

3) 正しい漢字のイメージ認識（1）

携帯電話の画面に表示された漢字が「間違った漢字」であるか質問した。漢字の字形についての質問なので、「間違った漢字」と指摘した被験者数は、表1-2より多くなるところもあったが、これは被験者に漢字圏の学習者が含まれる為だろう。

[表1-3] (1=間違った漢字である 0=そうは思わない)

	レベル	母語	員	鑑	風	響	闇	薦	賞	事	重	離	合計 A
回答者1	初級	中国語	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	1
回答者2	初級	中国語	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0
回答者3	初級	中国語	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0
回答者4	初級	中国語	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
回答者5	初級	中国語	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	9
回答者6	初級	中国語	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1	0
回答者7	中上級1	中国語	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
回答者8	中上級1	中国語	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	9
回答者9	中上級1	中国語	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0	6
回答者10	中上級1	韓国語	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
回答者11	中上級1	韓国語	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	7
回答者12	中上級2	朝鮮語	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	9
回答者13	上級2	韓国語	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	7
合計 B			13	7	4	11	12	11	13	13	12	7	103
指摘割合(%)[1の割合]			100	53.85	30.77	84.62	92.3	84.62	100	100	92.3	53.85	

「間違った漢字」と指摘する被験者の傾向には、母語やレベルごとの有意な差は見られなかつたが、指摘数は高い割合を占めていることが分かった。

4) 正しい漢字のイメージ認識（2）

表1-3で「間違った漢字」と指摘する被験者が、実際に「正しい漢字」を認識できているのか確認するために、正しいと思う漢字を記入してもらった。未記入(0)は、表1-3で「間違った漢字」と指摘していない被験者か、「間違った漢字」と指摘したが「正しい漢字」を書くのをあきらめてしまった被験者である。

[表1-4] (1=提示漢字と同じ漢字を記入 0=未記入 ×=異なる漢字を記入)

	レベル	母語	員	鑑	風	響	闇	薦	賞	事	重	離	合計 A
回答者1	初級	中国語	×(負)	0	0	0	×(闇)	×	1	1	0	1	3
回答者2	初級	中国語	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	4
回答者3	初級	中国語	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0	5
回答者4	初級	中国語	1	0	1	0	0	0	1	1	1	1	6
回答者5	初級	中国語	×	1	0	0	×	0	1×	×	×	×	2
回答者6	初級	中国語	1	1	0	1	×	0	1×		1	0	5
回答者7	中上級1	中国語	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
回答者8	中上級1	中国語	1	1	0	1	1	×	1	1	1	0	7
回答者9	中上級1	中国語	×(負)	0	0	1	1	1	1	1	1	0	5
回答者10	中上級1	韓国語	1	1	1	1	1	×	1	1	1	0	8
回答者11	中上級1	韓国語	1	0	0	1	1	0	×	1	1	0	4
回答者12	中上級2	朝鮮語	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	9
回答者13	上級2	韓国語	1	0	0	1	1	0	×	1	1	0	4
合計 B			10	6	4	8	7	3	11	11	7	4	68
×の数合計			3	0	0	0	3	3	2	2	5	1	19

これは正しい漢字を認識しているか確認する為に設けた質問だったが、「員」を「負」と間違える者2名、「閣」を「閣」と間違える者1名、「賞」を「覚」と間違える者2名、「重」を「垂」と間違える者4名を確認した。また、表1-3では「間違った漢字」と指摘しているが、実際には「正しい漢字」を表記できない者が少なくとも10名確認できた。

4-2 実験2

画面に表示された漢字を、用紙上に示された2~3択の選択肢から選ぶ問題を提示した。出題漢字には、必ず日本語能力検定試験出題範囲の漢字を含み、被験者が試験勉強の際に紙面で目にする可能性がある漢字を設定した。

[表2] (1=正解 その他=別回答)

	レベル	母語	土士	未末	讓護議	題頤頤	壁璧	ばぱ	パパ	熟默熟勲	合計 A
回答者1	初級	中国語	1	1	1	1	1	1	1	1その他	7
回答者2	初級	中国語	1	1	1	1	1	1	1	1その他	7
回答者3	初級	中国語	1	1	1	1	1	1	1	1その他	7
回答者4	初級	中国語	1	1	1	1	1	1	1	1	8
回答者5	初級	中国語	1	1	1	1	1	1	1	1	8
回答者6	初級	中国語	1	1	1	1	1	1	1	1その他	7
回答者7	中上級1	中国語	1	1	1	1	1	1	1	1	8
回答者8	中上級1	中国語	1	1	1	1	1	1	1	1	8
回答者9	中上級1	中国語	1	1	1	1	1	1	1	1	8
回答者10	中上級1	韓国語	1	1	1	1	1	1	1	1	8
回答者11	中上級1	韓国語	1	1	1	1	1	1	1	1	8
回答者12	中上級2	朝鮮語	1	1	1	1	1	1	1	1	8
回答者13	上級2	韓国語	1	1	1	1	1	1	1	1	8
合計 B			13	13	13	13	13	13	13	9	100
正答率(%)			100	100	100	100	100	100	100	69.23	96.15

表2の「その他」という回答は、(正答の)「熟」という選択肢があるにも関わらず、それを選択せずに被験者自らが新たに選択肢として書き加えた文字である。該当する4つともに「熟」の「口」の部分が「| |」となっていた。

実験2では、提示する問題に表1-4で被験者が間違えた「員」と「負」、「閣」と「閣」、「賞」と「覚」、「重」と「垂」を加えて、実験1で行った表示漢字の再生能力と実験2の再認能力を具体的に比較調査できると良かった。

4-3 実験3

実験3では、画面の文章表示の読みやすさについて以下2つの場合における印象評価実験を行った。

1) 改行の位置

改行の位置を画面の端に統一するパターン(A)と、文の句節の切れ目で改行するパターン(B)のどちらが読みやすいと感じるか、実際に日本語の文章を読み判断してもらった。英語のワープロ文のように単語の終わりで改行が行われるほうが読みやすいとの仮説は一応成り立ったが、全体的な割合から見ると圧倒的に支持されるわけでもないことが分かった。レベル別に見ると、初級レベルが6人中5人、Bパターンを選択していることが分かった。しかし、上級レベルもBパターンを選択している。従って初級レベルがBパターンを好んでも、上級レベルになるにつれてAパターンが好まれるようになるとは言えないことが分かる。

[表3-1] (読みやすいと回答した表示パターンを1とする)

	レベル	母語	A	B
回答者1	初級	中国語	0	1

回答者2	初級	中国語	0	1
回答者3	初級	中国語	0	1
回答者4	初級	中国語	0	1
回答者5	初級	中国語	0	1
回答者6	初級	中国語	1	0
回答者7	中上級1	中国語	1	0
回答者8	中上級1	中国語	1	0
回答者9	中上級1	中国語	1	0
回答者10	中上級1	韓国語	0	1
回答者11	中上級1	韓国語	0	1
回答者12	中上級2	朝鮮語	0	1
回答者13	上級2	韓国語	0	1
合計			4	9
割合(%)			30.77	69.23

2) 続きの文を読む方法

一回の画面表示で、表示される文章が全て入りきらない場合は、続きを読む操作が必要となる。現在の端末では、画面下に一行追加していく表示方法（A）と画面全体を続きを読むに切り替える方法（B）がある。どちらの方法が続きを読むやすいか、1)と同じ文章を表示させて比較した。結果ではレベル別の有意な差が見られなかった。被験者個人の好みによると推測できる。

[表 3-2]

	レベル	母語	A	B
回答者1	初級	中国語	0	1
回答者2	初級	中国語	0	1
回答者3	初級	中国語	0	1
回答者4	初級	中国語	1	0
回答者5	初級	中国語	1	0
回答者6	初級	中国語	1	0
回答者7	中上級1	中国語	0	1
回答者8	中上級1	中国語	1	0
回答者9	中上級1	中国語	0	1
回答者10	中上級1	韓国語	0	1
回答者11	中上級1	韓国語	0	1
回答者12	中上級2	朝鮮語	1	0
回答者13	上級2	韓国語	1	0
合計			6	7
割合(%)			46.15	53.85

5. 総合的考察

携帯電話は限られた画面の中で、 12×12 程度のドットを一文字に割り振り文字フォントを作成している。当然、TrueFont をそのまま埋め込むとドット数を多く必要とする文字が潰れてしまう。そこで各メーカーでは読み易いフォントの開発が進んでいるが、開発側が目指すのは、「文字が潰れないこと」である。つまり、日本人にとっての読みやすさとは、多少字体を簡略化しても文字が潰れていないことといえる。この傾向が液晶画面の文字フォントを開発する側にある限り、漢字表示が印刷物同様の「正しい漢字」に戻る可能性が少ないことが予想できる。

現在日本で生活する日本語学習者が所有する携帯端末を利用して文字教育として漢字教材を開発する場合は、少なくともまずは画像を使用して規定フォントよりも大きいサイズでの漢字の導入を行う必要があるだろう。また、標準サイズの規定フォントを使用してテキスト文を表示する場合でも、学習者が読み間違う可能性が分かっているので注意が必要である。更に付け加えると、ストロークフォントを用いた拡大フォントの表示でも、省略されている漢字はあるので、漢字表示を大きくして見れば良いと安心することもできない。

6. おわりに

携帯電話によるコンテンツの利点は、情報の携帯性と多様性にある。携帯電話を利用した学習コ

ンテンツなら、重い辞書や嵩張る勉強道具を広げずに、どこからでも少しの時間を利用して簡単なボタン操作によって、1人で自由に勉強時間を作ることが可能である。したがって、今後期待される携帯電話の技術的進歩によって、日本語教育においても学習メディアとして使用できる可能性が大きいにあると考える。その期待がある一方で、日本語学習にふさわしいツールとする為には、外国人の立場から可能性と問題点を考える必要があることが、今回の実験調査で分かった。

最後に、今回の実験調査にご協力いただいた千駄ヶ谷日本語教育研究所の皆様方に厚くお礼を申し上げます。

注

1. 『日本語能力試験 漢字ハンドブック』(アルク)に収録されている全ての漢字(2055字)を対象に、画面で省略される字画を含む漢字を分類した。分類にはAUのC451Hを使用し、標準サイズの文字フォントを見て省略の有無を判断した。分類結果は、資料1に掲載した。
2. 千駄ヶ谷日本語教育研究所のホームページ (<http://www.jp-sji.org/jpc/course/level.html>) に公開されているクラスレベル一覧に基づくと、「初級 I」は日本語能力試験4級(語彙数800語)レベル、「初級 II」は日本語能力試験3級(語彙数1,500語)レベル、「初中級」及び「中級」は日本語能力試験2級(語彙数6,000語)レベル、「中上級」は日本語能力試験1級(語彙数10,000語)レベルである。

参考文献・URL

- (1) 移動電気通信事業加入数の現況(2001年10月4日)(総合通信基盤局発表)
http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/pressrelease/japanese/sogo_tsusin/011004_1.html
- (2) 携帯所持率(2001年7月18日)(創刊15周年 アルク『日本語ジャーナル』主催【外国人学生のための「アルク進学フェア2001」アンケート集計結果】)
<http://www.alc.co.jp/press/releaese/release0718.htm>
- (3) 「LCフォント.C」開発(シャープ、携帯向け新フォント「LCフォント.C」を「J-SH07」に搭載)
<http://k-tai.impress.co.jp/news/2001/05/30/lcfontc.htm> (2001年5月30日)
- (4) (SANYOホームページ)新方式ストロークベースフォント技術の開発(1999年7月1日)
http://www.sanyo.co.jp/koho/hypertext4/9907news_j/0701-1.html
アルク日本語出版編集部編著『日本語能力試験 漢字ハンドブック』(1994年5月1日初版発行 アルク)

資料

1. 質問用紙

なまえ
名前 []
こくせき
国籍 []
ほこくご
母国語 []

① あなたは漢字を 勉強 していますか
□はい →②へ
□いいえ →③へ

② 漢字を 勉強 している人は1~3の質問に答えてください。

1. 漢字を 勉強 する目的 []
2. 漢字を 勉強 する頻度 []
3. 漢字を覚える方法 []

③ 漢字を勉強しない理由は何ですか。

[

]

しつもん 1

画面の文字を見て、同じ文字を書いてください。また、この漢字を知っていたら隣に○を書いてください。

①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		

しつもん 2

画面の文字と同じ文字を選んで○をつけてください。

① 土 士
② 未 末
③ 譲 護 議
④ 題 頭 顧
⑤ 壁 璧
⑥ ば ぱ
⑦ バ パ
⑧ 热 默 熟 動

しつもん 3

画面の文を最後まで読んでください。画面Aと画面Bのどちらが読みやすかったと思いますか？

①	A	B
②	A	B

2. 回答分析結果一覧

出題問題	回答者1	回答者2	回答者3	回答者4	回答者5	回答者6	回答者7	回答者8	回答者9	回答者10	回答者11	回答者12	回答者13
クラス	初級	初級	初級	初級	初級	初級	中上級1	中上級1	中上級1	中上級1	中上級1	中上級2	上級
国籍	中国	中国	中国	中国	中国	中国	台湾	韓国	中国	韓国	中国	韓国	中国
母語	漢語	漢語	中国語	中国語	中国語	中国語	漢語	韓国語	朝鮮語	韓国語	漢語	韓国語	中国語
あなたは漢字を勉強していますか(○=はい⇒下記①を回答×=いいえ⇒下記②を回答)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
① どうして勉強しているか(この欄に複数OK)													
1. 漢字を勉強する目的	日本語を勉強するため	日本語を勉強するため	日本語を勉強するため	日本語を勉強するため	日本語を勉強するため	日本語を勉強するため	日本語を勉強してい日本語をます、それ勉強するたから日本めにの有名大漢字を勉強のために入りますたいです。ばいがために	日本語を勉強するばあい	日本語を勉強するばあい	日本語を勉強するばあい	日本語を勉強するばあい	日本語を勉強するばあい	日本語を勉強するばあい
2. 漢字を勉強する頻度	1週間に20時間	1週間に20時間	1週間に3時間	1週間に3時間	1週間に3時間	1週間に3時間	1週間に3時間	1週間に3時間	1週間に3時間	1週間に3時間	1週間に3時間	1週間に3時間	1週間に3時間
3. 漢字を覚える方法	たくさん書くこと	書くこと	見る	見る	書く	見る	読み方を暗記するだけ、書き方は別にしなくても大丈夫だと思う	反復的に書きながら書いたり見書きながら書きながら	書きながら書いたり見書きながら書きながら	書きながら書いたり見書きながら書きながら	書きながら書いたり見書きながら書きながら	書きながら書いたり見書きながら書きながら	書きながら書いたり見書きながら書きながら
②漢字を勉強しない理由は何ですか。													
質問1													
画面の文字を見て、同じ文字を書いてください。また、この漢字を知っていたら隣に○を書いてください。													
1-1. 員													
欄内の字は正しい漢字である=○	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
欄内の字は間違った漢字である=x													
1-2. 員													
この字を知っている=○	x	o	o	o	x	x	o	o	o	o	o	o	o
未記入=x													
1-3. 員													
画面に表示された字は間違っていると思う=○	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o
未記入=x													

1-4. 員															
画面に表示されている字は間違っているので、正しい字を書いた。															
書いた字は正確である=○															
異なる漢字を書いた=×未記入=なし	x(負)	○	○	○	x(該当漢字なし)	○	○	○	○	○	○	○	○	x(負)	
2-1. 鑑	○	○	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	○	
2-2. 鑑	○	○	x	○	x	x	○	○	○	○	○	○	○	○	
2-3. 鑑	x	x	○	○	○	○	○	x	x	○	○	x	x		
2-4. 鑑	なし	なし	○	なし	○	○	○	なし	なし	○	○	なし	なし		
3-1. 風	○	○	○	x	○	○	x	○	x	x	○	○	○	○	
3-2. 風	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3-3. 風	x	x	x	○	x	x	○	x	○	○	x	x	x	x	
3-4. 風	なし	なし	なし	○	なし	なし	○	なし	○	○	なし	なし	なし	なし	
4-1. 聞	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x	x	x	
4-2. 聞	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○	○	
4-3. 聞	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	
4-4. 聞	なし	なし	なし	なし	なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5-1. 聞	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
5-2. 聞	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○	○	
5-3. 聞	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
					x(該当漢字)	x(該当漢字)									
5-4. 聞	x(聞)	なし	なし	なし	なし	なし	なし	○	○	○	○	○	○	○	
6-1. 薦	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
6-2. 薦	x	x	x	x	x	x	x	○	x	○	x	x	○		
6-3. 薦	○	○	x	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	
					x(該当漢字)	x(該当漢字)									
6-4. 薦	x(該当漢字なし)	なし	なし	なし	なし	なし	なし	○	なし	○	x(該当漢字なし)	x(該当漢字なし)	なし	○	
7-1. 賞	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
7-2. 賞	x	x	x	○	x	x	○	○	○	○	○	○	○	○	
7-3. 賞	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7-4. 賞	○	○	○	○	○	○	○	○	x(Like 賞)	○	○	○	x(Like 賞)	○	
8-1. 事	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
8-2. 事	x	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8-3. 事	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
					x(該当漢字)	x(該当漢字)									
8-4. 事	○	○	○	○	x(該当漢字なし)	x(該当漢字なし)	○	○	○	○	○	○	○	○	
9-1. 重	○	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
9-2. 重	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9-3. 重	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
					x(該当漢字)	x(該当漢字)									
9-4. 重	なし	○	○	○	x(該当漢字なし)	○	x(垂)	x(垂)	○	○	○	○	x(垂)	x(垂)	
10-1. 離	x	○	○	x	○	○	x	○	x	○	○	○	○	○	
					x(該当漢字)	x(該当漢字)									
10-2. 離															
この字を知っている=○															
未記入=x	x	○	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10-3. 離	○	x	x	○	○	x	○	x	○	○	○	○	x	x	
					x(該当漢字)	x(該当漢字)									
10-4. 離	○	なし	なし	○	x(該当漢字なし)	なし	○	なし	○	なし	なし	なし	なし	なし	

質問2

画面の文字と同じ文字を選んで○をつけてください。

士=x	士=○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
未=x	未=x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
離=x	離=x	離=○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
離=x	離=x	離=○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
壁=x	壁=x	壁=○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ば=x	ば=○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
バ=x	バ=○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
熱=1 黙=2 熟=○	その他の熟														
熱=3	(Like 熟)														

質問3

画面の文を最後まで読んでください。画面Aと画面Bのどちらが読みやすかったと思いますか？

①A=改行なし B=改行あり	B	B	B	B	A	A	B	B	B	A	B	A	B	A
②A=1行送り B=画面送り	B	B	B	A	A	A	B	A	A	B	A	B	B	B

3. 日本語能力検定出題範囲の漢字一覧(『日本語能力試験 漢字ハンドブック』掲載順)

標準 12×12 ドットの画面表示を参照し、画数が省略された漢字を [] で示した。

★ 1画

一乙

★ 2画

七丁九了二人入八刀力十又

★ 3画

下三万上丈与丸久亡凡刃千及口土士夕大女子寸小山川工己干弓才

★ 4画

不中丹屯升予互井五仏仁今介元内六公円冗凶切分刈勾勿化区匹午厄双友反収太天夫孔少尤尺幻弔引心戸手支文斗斤方日月木欠止比毛氏水火爪父片犬王

★ 5画

丙世丘巨主井乏以付代仕他仙令兄冊写冬処凸凹出刊加功包北半占去召古号史司右叱句只台叩可四囚圧外央失尻尼左功布市平幼広序弁込辻必打払斥旧且甲未末本札正此民氷永汁犯母玄玉瓦甘生用申田由白皮皿目矛矢石示礼穴立

★ 6画

吏両争交伏仰仮休伝伐件任仲会企充光兆先全共再列刑劣旨匠印危合吉叫吐吸名同后向吊各団因回地在壮多妃妾好如存字宅安宇守寺当尽州帆年式芋芝迅巡老考忙成扱旬早曲有朴朽机朱次死氣汗汚江池灯灰每百竹米糸缶羊羽耳肉肌自至舌舟色血行衣西

★ 7画

更乱亜伴伺作佐位似伯低住何伸体余克児兵冷初利別判励勞努力医卯即却呂吟吹呈君含吳告否吠団圧困坊坑均坂声壳妙妨妾孝完对寿尻局尾岐希床序廷弟形役花芳芸芯迎近返防邦那忘忌忍応志快我戒戻扱扶抗抑投折把拔抄技批改攻材村条来杉束求決沖汽没沈沢沙汰炎状狂町男社私秀究系肘肖肝良臣見角言谷豆貝赤走足身車辛麦里

★ 8画

乳事京早享供併侍依侮価佳例使免典其具券刻刷制刺効効卒協卓參受取叔咲味呪周命和呼固坪垂夜奉奔奇始姉妻妹姓委季学宛寔宙定宗官宜宝尚届居屈岳岸岩岬幸店府底延弦往征徑彼苗若芽茂英茎苦迫迭述附阻邪邸者忠忽念性怖怪或房所承抵拋拒拵押押招披拘抹拓拵抽放於昆昔昇明易服林枢果松枚杯枝板析東枕杵欧洲步武殴沿況泌注法泡治波油沫河沸泊泥沼泣炊炎炉版物牧狃毒画的直盲知祈祉空突並肥股背肪肢育脣到舍表金長門雨青非斎

★ 9画

乘事俗保促信便侵係俊冠前則削勅勇卑南貞卸巻屢叙唉品哀咳垣型城垢変契奏威姻姿孤室客宣尊封耐屋峠峙帝幽度建弧待律後单茹草荘茶荒退逃逆送迷追限郎郊怒怠急思悔恨恒挑拷拾拶指挾括持政故施昨春映昼昭是星枯染柱柳柄榮查架殆段皆泉浅津派活洪淨洋海洞洗炭為点性狹独狩珍某甚界烟疫發皇盆省相眉冒看盾県柔砂砕研神祖祝秒秋科窃糾級紀約紅美胃胞肺胎背胆臭膚要訂計負赴軍軌重面革音風飛食首香

★ 10画

倫俳侯俵借修儉俺個價値倣倍俸倉党兼准凍剣剝剖剤剛勉匿原唐唇眞哲唆埋夏娘姫娠孫容宰宮害家宵眞辱射將展峰島差師席帰帶庭座屢弱徐從徒華荷途逐逐通連造透這陞院陥除降陣郡恐恩息恋悦悟惱恭扇舉振揮挨捕搜敏料旅時書朗桑棧桟核格桃梅校案株根栽殉殊残殺泰浪消浦涙浜浮浴流浸烈釜特殊班畠畔留畜症疾病疲益眞眠破砕秩租秘称既笑粉粹紛納紗紙紐索純紋耗耕恥胴胸脣脇脂能脈致航般蚕蚊衷衰袖被訓討記託財寶起軒酒酌針隻飢馬骨高鬼竜

★ 11画

乾健偽偵偏傳側剩副務動勘匙唱商唯喝問啓基域執培堂堀爽婦婚宿密寄尉崎崖崩崇帳常庶康強張肅彫彩得者菜菊眞菌週進逮逸隆陸陰陵陰陶陳陪都鄉部郵患惡悠悼惚情慘惜授揭据椎排接捨控措措採探掛掘赦教救敗斜断族旋曹望梢械巢欲殼淡涼添深涉淑渢涯混渴清液渢溪獵猛猫率現球理瓶產略異盜盛眼眺斎票祭移窓室章第符笛粗粘粒組紳絶累細紹經習翌脱腦脚船舶虛蛇蛋螢術袋視規訛訪訟設許豚販貧賤貿軟転醉野釣閉雪頂頃魚鳥麻黃黑

★ 12画

備傍偉傘創割勤勝算博喫喚喉喧喪喜善圈場塙塔堪報堤塙堅隨奥媚媒富寒尊就属嵐幅幅幾廊廃彈復循御營葬落葉遇遲遙達遊道遂過遙陽階隅隊隨悲惑偷流情屋扉擎搭搖握換提援揚揃揮散敬晴晚晶替暑暁普景最曾

朝期椅檢棋棺棚棟森植極棒款欺殖湾湯溫港湿滋湧測溝減湖渡渦燒煮焦無然猶琴番星骨疎痘病痛登短硫硝硬税程稀童筋笞策箇等答筆粧繪給絞結統絕絡紫着腕臂蛮衆街裂裁裝裕補覺覩詔訴詞詐診詠証評象買賣貯費貸賄貼賈超越距軸輕醉量鈍開閑間雄集雲霧項順飲飯齒

★ 13画

棄僧僅傾傷催債働傑勢勸嘆嗚嘯塈塈墓塊塗塑壺夢獎嫌嫁寢寃幕幹微善蓋蒸遠違遭隔愛感愁想慈愚意慨慎戰撓損搘摶搬數新暇暖業樓樂歲殿漢溜滌滅滯漠源滑溝準溶煙照獻猿痴盟睨督睡基碗禁禍禪福稚署置罪節繼綱繞義群聖腰腫腹腸艇廣裏褐裸裾触誠該詮話詳詰試誇詩豐賊貲資跋路跳跡較載辭廣酬鉛鉢鉛鉄鈴雌雅零雷電靴頑煩頒頓預飼飾飽馳鼓

★ 14画

僕像僚噓塾境增墨嫡寡寧察奪層影徵德時遮適遭際隙障隱態慢憎慣慕摘旗曆暮模概構樣歌歷漫漆漬漁漸滴演漂漏獄疑碑磁穀種稻端罰箸算箇管精綿紺綱練網緒綠聞腐膜製複誘誓說認誤語說誌豪賑踊醇酷酸銅銀錢銑銘銃閥閨雜需靜鞠領駅駄駆髮魂鳴鼻

★ 15画

億儀舖劇尊贈噴器珮墜墳嬉寮審導履幣弊影徹藏遺遷遵選慶憂慮慰憤憧戲摩擊撤振撲撒敷敵暫暴槽標橫權歛渴潮潔澄潛潤熱默熟熟監盤確穗稿稼稻黑罷箱範繩締編線緣緊緩膚膝蝶衝奏調誰誕謁論談諸課諾請賭賂質賛賓賞賦賜趣踏圭輸輝舞鑄銳閱靈震姜餌缺駐髭魅

★ 16画

儒凝壙墻墾壞壁奮娘薄薰來薦避還隣蕙憩憾懷憶操擁整疊樹橋機激濃濁燃獸獲磨穩積築篤糖綻緯縱繁縛膨興衡衛親謠謀諭諮詢贊輸鋼錄錠錯隸頭頰頰館融

★ 17画

優儻嚇倣想擬擦濡燥犧環療瞳矇礁縮績犧翼聰覽勝謝講謹謙購轄醜鍋健鋸閑霜霞頻鮮齡

★ 18画

嗜薄蘋懲懶酒辟瞬礎瘦簡糧繕織翻職覆臨觀解贈醫鎮鎖閾難額題顙類顏騎驕驗

★ 19画

藻蘇瀕爆重羅博縕祿牋弱警譜識蹴鏡離霧韻頤韻鯨鷗麗

★ 20画

懸欄競讓護議酸鐘響騰

★ 21画

鑿掘觸鬱魔

★ 22画

餽與驚

★ 23画

鑿